

平成 22 年度



発達障害児と保護者の療育活動と 夜間子育て相談窓口の設置



NPO法人 **はなしのぶ**

夜間子育て相談窓口の設置

■夜間子育て相談窓口の設置

(都島区コース) 場所：NPO法人mamaコム事務所 (計14名)

- 第1回 日時：4月16日(金) 午後6時～8時 講師：黒岡恵子さん
内容：乳幼児期の子どもを持つ保護者(2名)
- 第2回 日時：6月26日(土) 午後6時30分～8時30分 講師：伊丹昌一先生
内容：学童期(小学校高学年)の発達障がい児の保護者(3名)
- 第3回 日時：8月23日(月) 午後6時～8時 講師：伊丹昌一先生
内容：青年の保護者、成人当事者、発達障がいと盲障害の保護者(3名)
- 第4回 日時：9月10日(金) 午後6時～8時 講師：是澤ゆかりさん
内容：学童期の発達障がい児の保護者と学校の担任(1名)
幼児期の子どもを持つ保護者(1名)
- 第5回 日時：12月10日(金) 午後6時～8時 講師：加藤義弘先生
内容：学童期の発達障がい児の保護者、不登校の保護者(2名)
- 第6回 日時：2月18日(金) 午後7時～9時 講師：伊丹昌一先生
内容：乳幼児期・学童期の子どもを持つ保護者(いずれも未診断・2名)

(北区コース) 場所：有限会社 スタジオコムリ・スタジオ室 (計16名)

- 第1回 日時：5月21日(金) 午後6時～8時 講師：黒岡恵子さん
内容：学童期(小学生)の発達障がい児の保護者(2名)
- 第2回 日時：7月26日(月) 午後6時～8時 講師：伊丹昌一先生
内容：青年当事者、成人当事者、中学生の保護者(3名)
- 第3回 日時：10月15日(金) 午後6時～8時 講師：是澤ゆかりさん
内容：青年当事者の保護者(3名)
- 第4回 日時：11月27日(土) 午後6時～8時 講師：伊丹昌一先生
内容：成人当事者、不登校・行き渋りの児童の保護者(4名)
- 第5回 日時：1月28日(金) 午後6時～8時 講師：加藤義弘先生
内容：行き渋りの児童の保護者、発達障がいと盲障害の保護者(2名)
- 第6回 日時：3月18日(金) 午後6時～8時 講師：黒岡恵子さん
内容：学童期の発達障がい児の保護者(2名) ※2件とも家庭訪問

(別途枠) 旭区コース 場所：城北市民学習センター会議室1 (計5名)

- 第1回 日時：3月12日(土) 午後6時～8時 講師：伊丹昌一先生
内容：幼児の保護者と保育園の担任(1名) 学童期(小学生)と保護者(1名)
- 第2回 日時：3月23日(金) 午後6時～8時 講師：伊丹昌一先生
内容：青年当事者の保護者(2名) 幼児の保護者と保育園の担任(1名)

(発達検査実施回数)

成人知能検査 WAIS-Ⅲ 3名 新版K式発達検査 1名
WISC-Ⅲ 知能検査 1名 フロスティッグ視知覚発達検査 1名
WISC-Ⅳ 知能検査 1名

相談日時	4月16日 7時00分開始 8時00分終了				
年齢	2歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	未診断
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
動き回って、手に負えない。姉が広汎性発達障がいなので、弟も同じ障がいではないかと思っている。今後、どのように育てていけば良いか。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	2歳児であるが、言語は単語のみで、動き回って走る姿に母は手が終えない様子。姉が広汎性発達障がいであるため、本児も同じ障がいではないかとの不安を持っている。今後、家庭生活上、どのように過ごせばよいのか。	母の困り感は、本児が動きまわるため、家庭生活に支障をきたしている部分である。また広汎性発達障がいについての理解はあり、医療機関、相談機関の情報もよく知っているので、必要があれば姉の相談機関などに同行させてみるのも良いかと思われる。	4月より保育園への入園が決まっており、平日の母の負担は随分と軽減されているようである。休日については、姉が外出支援の制度を利用していなかったため、その情報と、地域の親の会に参加すると、たくさんの地域情報（おもちゃ図書館など）が得られることを伝えた。また不安であれば、姉の相談機関に相談するのも方法としてどうかと伝えた。

相談日時	4月16日 6時00分開始 7時00分終了				
年齢	1歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	未診断
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
小学3年生の兄が、行動や性格に激しい一面があり、弟に怪我などの心配がつきまとう。兄と弟との関係作り。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	小学3年生の兄は、怒ると何をするか分からない、暴言がある、時には手足もでる。年の離れた1歳の弟がおり、それまで一人っ子だった兄の生活習慣を突然変更することが難しく、怪我などがないか、目が離せずに気が休まらない。	兄が暴言や、激しい行動をとった時、周囲の大人達の反応は、その場から去る、やんわりと注意を促すとのこと。その方法で家庭内で思うように行動できることを学習しているように感じた。	兄の行動には、必ず原因があるはずなので、行動の原因を見つけることから、正しい表現の仕方を具体的に教え、兄として素晴らしい、と彼の自尊心を大切にしながら接してみてもどうかと提案した。

相談日時	5月21日 7時00分開始 8時00分終了				
年齢	9歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	知的障がいに伴う自閉性障がい
投薬（その原因）など	なし				
相談内容					
3年生になり親自身、我が子にどのように対応したら良いのか？悩んでいる。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	本人が、友人との交流を求めるが、トラブルも多く、暴言や手を出してしまう事もあり、遊ぶ約束も上手に出来ず、本人の想いとうらはらに友人関係が難しくなっているため、親の介入をどのようにしたら良いのか悩んでいる。	会話全体を捉える事が難しく、本人の必要な部分だけを受け止めて、本人なりの解釈をしてしまうので、その通りに物事が運ばれない場合などにトラブルになっていると考えられる。	本人が報告する会話を線画や吹き出し等を用いて書き出して、時系列や意図する事などをより丁寧に本人が解るように説明してあげる。また、本人の希望する事が友人に受け止められない場合もあるという事を書いて伝え、その上で、本人がどう思い、どうしたいのかを聞き対応策と一緒に考えてみては、と提案した。

相談日時	5月21日 6時00分開始 7時00分終了				
年齢	6歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	自閉性障がい
投薬（その原因）など	なし				
相談内容					
小学校に入学して1ヶ月程度だが、本人はすでに登校渋りの状態である。担任や学校長と話し合いを重ねても、子どもの特性について、なかなか共通認識に至らない。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	校長、クラスの担任、支援学級の担任と話を重ねるが、「大丈夫ですよ。」と言われ続け保護者が心配しすぎの様に取りあってもらえないが、パニックになったり、登校を行き渋る姿を見ていると学校側の正しい特性の理解と本人に合った対応がされていない事への不信感をどのように伝えるべきかを悩んでいる。	入学して間がなく学校側も対象児の様子を見ている段階だと思われ、事前に保護者から受けている情報とが上手くかみ合っていない状況の中、本人の困難なところが露出し保護者の不安が大きくなって、学校との関係がギクシャクしつつある。	保護者もよく勉強していて、既に沢山の希望を学校に伝えているので、再度こちらから、伝えるのではなく、先生にどうしたらいいと思いますか？と一緒に考えてほしいという、スタンスで進めて行き、同じ方向を向いて、困難も喜びも一緒に分かち合えるような関係を作る事を提案した。保護者と先生との信頼関係を結ぶ事の重要性を伝えた。

相談日時	6月26日 7時50分開始 8時30分終了				
年齢	11歳(保護者の相談)	性別	女兒	主な障害	広汎性発達障がい
投薬(その原因)など	なし				
相談内容					
先生によっては、反抗、失礼なこと(デブなど)を言ったりして叱られる。叱られてクラスを出て行ったこともある。すぐに物を紛失する。気に入らない事があるとパニック→暴言(バカ、死ねなど)					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	自分の思いが通じにくいときに、暴言(バカ、死ね等)が出て困る。それは気分によって、母に対しても、先生に対しても起こる。また、5年生ともなり、障がいの告知を行ったほうがいいのか。	暴言を発するという事は、暴言をどこかで学んでいるということが予測される。母に確認したところ、クラスメイトの言葉が荒くそこできつい言葉遣いを学んでいるということであった。	暴言を発する直前の状況、暴言の内容、暴言を言った後の環境の変化といったように、行動を3分割し、行動の機能を分析することをお願いした。暴言に対する正しい行動をきめ細かく教えることによりほめることを増やし、勇気を盛って正しい行動が出来るよう支援することをお願いした。

相談日時	6月26日 7時10分開始 7時50分終了				
年齢	11歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	高機能自閉症
投薬(その原因)など	ストラテラ・セレニカ(小学3年生の時に学校で暴れたため) ピドキサール・アルファロール				
相談内容					
被害妄想的なところが多く、正確な報告ができない。3割は現実ではない話が入ってくるので、本当の困り感を見つけるのが困難。どう接していいのかを相談したい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	被害妄想的なところが多く、学校での様子を聞き取ろうと思っても、空想のような話になり、的を得ない。学校の先生の対応がきついで、正確の情報を得たいが、それが出来ないの、子どもの困り感が増している。	本心を語りたものの、本当のことを話せばしかられたり、先生にきつい対応をされたりという経験から、架空の話をして逃げている可能性がある。回避・逃避要求があると思うので、現実に立ち向かえるように環境調整する必要がある。	SSTにも参加しており、そのときの状態も加味して、アドバイスした。見通しがもてないとかかなり不安になる様子なので、予告を多用し、計画をきっちり守るという対応を心がけ、安心感をまず持たせることが必要であることを伝えた。さらに、あいまいな話については、頭ごなしに否定するのではなく、まず話の内側にこめられた気持ちを受け止めることで安心して話が出来環境を作ることをお願いした。

相談日時	6月26日 6時30分開始 7時10分終了				
年齢	11歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	知的障がいを伴う自閉性障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
中学に向けて。地域は学力向上主義のため、障がい児の居場所がない、教職員に理解がない、等の噂ばかりを聞く。これからの思春期に向けての対応の仕方。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	非常にこだわりが強く、不安が強いが、小学校は子どもをよく理解してうまく対応していただいている。子どもも毎日が非常に楽しそうである。しかし、中学はうわさによると進学指導中心で否定的な情報ばかりを聞く。支援学校では向いていないと思うので、どのようにしたらよいか。	少いうわさに引きずられているような気がする。学校環境は職員の移動もあり年度ごとに変わるので、足を運んで自分で確認する必要がある。また、支援学校は向いていないと決め付けるのではなく、選択肢の一つとして置いておくべきである。	移行先の学校と密な連携をとり、本人又は保護者の願いをかなえることが出来るような学校を選択する必要がある。単独での行動が難しければ、相談機関等と連携し、学校と前向きな話し合いを設定する必要がある。

相談日時	検査：6月26日 4時開始－6時終了 結果：7月26日 6時40分－7時20分 ※検査結果を伝える相談日は連絡がつかず				
年齢	37歳	性別	女性	主な障害	未診断
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
精神障がい者手帳を取得しており、本人も「発達障がいではないか」と思っている。自分の得意、不得意分野を知るため					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	個別式認知検査WAIS-IIIを実施した。検査に対する姿勢は非常にまじめで、一生懸命取り組んでおられた。ただ、各下位検査において、かなりのアンバランスが見られ、精査を要するが、本人のこれまでの努力以上の要因があることが予想される。	検査で見られた、個人内認知能力のアンバランスと自信の低下は、本人のこれまでの努力の限界を超えており、背景要因として発達の何らかの課題があることが予想される。障がいの判断は出来ないのも、もし、診断を望むならば医療機関を受診する必要がある。	結果についての精査は行っていないが、現段階としては視覚的な情報を統合する力が強く、聴覚情報を順序良く整理することや言語概念形成力等に課題が見られる。したがって、ご本人の得意な能力・不得意な能力が何かを自分で知ることからはじめ、認知能力の長所を活用した生活様式を構築できるようアドバイスしたい。

相談日時	7月26日 7時20分開始 8時終了				
年齢	9歳（保護者の相談）	性別	女兒	主な障害	アスペルガー症候群
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・母子分離 ・安心して楽しく登校（定時） ・学習参加 					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 所見	<p>小学生の第3子を中心とした相談であったが、中学生の二男、高校生の長男についての相談もあった。3人も子どもすべてに発達障がいの特徴があり、それぞれが母親依存が強いので、今後どのようにかわればよいか。</p>	<p>発達障がい特性に起因する不安の強さを母親依存ととらえている可能性が考えられた。また、一人一人に丁寧にかかわろうとするあまり、時間が無くなり、不安が高まっている。</p>	<p>一人一人について、学校の先生と共に個別の教育支援計画を作成し、一人ひとりの状況をもう一度整理しなおすことを提案した。その上で、本人に負担のかからない目標を設定し、それを達成することで自身や自尊感情を高めることを目標に支援するようにお願いした。</p>

相談日時	7月26日 6時開始 6時40分終了				
年齢	26歳（保護者の相談）	性別	男性	主な障害	アスペルガー症候群
投薬（その原因）など		メデポリン昼タ ベタマック昼タ パキシル			
相談内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得手・苦手を知る。 					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 所見	<p>幼少時から独特の個性として子どもの特性をとらえてきたが、成人になった今、障がいがあることを本人が受容し、自己を知ること、今後の生活を豊かなものにしてほしい。そのためにも、検査の解釈をしてほしい。</p>	<p>クライアント周囲の環境要因の悪さから、現在までの子育てに自信が持てず、自己嫌悪に陥っておられる様子であった。</p>	<p>持参いただいた検査結果が、FIQ、VIQ、PIQといったものだけだったので、個人内差の解釈は出来なかった。もう一度検査受診期間で検査結果の詳細をもらってきていただくことを依頼。また、今までのかかわりが悪かったからといった過去にとらわれるよりも、これからのことを考えて支援するように助言。</p>

相談日時	検査：7月26日4時開始－6時終了 結果：8月23日7時20分－8時終了				
年齢	41歳	性別	男性	主な障害	ADHD
投薬（その原因）など	なし				
相談内容					
社会の中で、自分らしく生きていく道を模索中であり、WAIS-Ⅲの検査を望んでいる。 (別途文書8枚有り)					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	自己理解を行い、今後の人生設計に生かしたい。そのためにも、すでにWAIS-Rを実施しているが、新しいバージョンでの個人内差の把握をしたい。	普段の生活における失敗体験からの不安。他者との考えの相違を目の当たりにすることにより、自分自身を知りたいという願い。	WAIS-Ⅲを実施。実施時間は2時間30分を要したが、生真面目に真剣に取り組むことが出来た。検査結果については解釈後本人に回答予定。

相談日時	検査：8月23日 4時開始－6時終了 結果：11月27日 5時開始－6時終了				
年齢	48歳	性別	女性	主な障害	なし
投薬（その原因）など	なし				
相談内容					
本人の中で、発達障がいではないかと？と思っている。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	勤務施設の理事長からは、「みんな何かのタイプを持っている。あなたはわからないが。」と言われる。 パソコンの作業も遅いし、人の言っていたことをすぐに忘れる。	自分の状態を言語化して、モニタリングする方略をすでにとっている。 しかし、読みが外れたり、失敗したりすると、何故そうなるか、切り抜け方はそれで良かったのかと、不安を増加させる。	WAIS-Ⅲを実施。検査に対する姿勢は真剣で、落ち着いて取り組んでおられた。 ただ、各下位検査において、かなりのアンバランスが見られる。 検査結果については解釈後本人に回答予定。

相談日時	8月23日 7時20分開始 8時終了				
年齢	41歳	性別	男性	主な障害	ADHD
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
7月26日実施のWAIS-Ⅲの検査結果を聞くため					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応	7月26日実施のWAIS-Ⅲの検査結果を聞き、自己認知を深めたい。	注意持続の問題や認知能力のアンバランスから来るやりにくさに対する自己認知不足。	個人内差を調べる心理検査（WAIS-Ⅲ）からは、言葉を聞いて言葉で反応する言語性の力が、見たものを書字やジェスチャーで返す動作性の力よりも優れており、そのアンバランスが非常に強い。その事実について、普段の生活の実体験と比べて一つ一つ確認することをアドバイスした。
所見	幼少のころから続くやりにくさの特定と、どのようにすれば快適な社会生活を送れるのか。会社で自分を理解し、うまく配慮を得られるための方法とは。		

相談日時	8月23日 6時40分開始 7時20分終了				
年齢	22歳(保護者の相談)	性別	男性	主な障害	アスペルガー症候群
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
大学に通っているが友達がいない。大学の編入試験を受けると言って予備校へ行っている。小さい時に父親から叩かれたことが、本人はトラウマになっていると言い、親子関係が悪い。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応	編入試験に対する失敗への対応の仕方。家庭から離れて暮らしており、母親をはじめとする家族にはあまり興味を示さず、信頼する女性にのみ心を開くのはなぜか？	発達障がい特性への対応が適切になされないまま、成人期を迎えたことに対するやりにくさ。	他県で知り合った女性（発達障がい）を家庭で引き取り、面倒を見ているが、息子は大学近くに一人暮らしという複雑な関係の中ではあるが、キーマンになる彼女を介していろいろな介入をしていくべきであることを伝える。編入試験は募集自体が少なく、非常に難しいという現実の予告も彼女を通じて事前に行ってほしいことも伝える。
所見			

相談日時	8月23日 6時開始 6時40分終了				
年齢	11歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	知的障がいを伴う広汎性発達障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
進路を本人に選んでもらおうと思っているが、本人が理解するための具体的な方法。本人に対しての障がい告知について。弟との関わりに対する親の介入の適切な方法。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	地域の中学校に進学することが本人の希望なので、中学に進学することを決めたが、配慮しておくことは無いか。本人への障がい名の告知はどのようにすればよいか。4歳の弟との関係が悪く、対応を知りたい。	進学に当たっての不安。本人の自己理解の進め方に対する質問。きょうだい関係の調整。思春期を迎えるに際して、今までとは違った課題に対する不安感。	今まで、適切な支援がなされてきているので、その支援を引き継ぐことが出来るような、申し送り書を小学校に作成していただくことをアドバイスした。その中で、本人の認知のアンバランスや行動の特性を障がいという視点のみではなく、よいところ、課題となるところといったように、個人内差という視点で伝えるために、本人もそのことを知るようになることを通して自分はこういう人間で、こんな良いところがあるということを知ることが告知であることを伝える。きょうだいはストレスを抱えていることが多いので、スペシャルタイムを取って、じっくりとかかわっていただくことをアドバイスした。

相談日時	9月10日 6時開始 7時終了				
年齢	6歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	自閉性障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
小学校に入学して半年経過したが、本人は登校渋りが改善されない状態で、父母ともに不安定であり、学校との関係も悪化する一方である。担任や学校長を交えた話合いの場を持つ。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	学校関係者との話し合いを通して「大丈夫です」と言われ続けるうちに「学校に不安の思いを伝えても、保護者の過度の心配で終わる」と感じている。信頼関係がギクシャクしている中で2学期を迎え、行き渋りの様子を見る中で、日々の活動、また運動会への対応について、保護者の不安は更に大きくなっている。	本児の課題は集団活動への参加であり、発達検査の結果等から、他者とのコミュニケーションには本児の特性をよく理解した大人の介入を要すると思われる。学校環境や入学当初の保護者の希望から、抽出対応はされておらず、ストレスを感じて表出しても、「もう少しがんばって」と後押しされている様子が伺える。	検査結果の分析を伝えながら、学校行き渋りの原因を探る。遅刻・早退・欠席を繰り返すより、支援学級の利用を勧める。学校側へ打診したところ、人間的な問題で、すぐには対応不可能とのこと。加配は常についており「しんどい」と伝えればプレイルームで休憩できる環境は整っている。本児は言語表出の弱さから全ての問いに「いや、全部いや」としか回答せず、学校側もわがままと受け止めている様子なので、スケジュールを確認しながら本児の能力に応じた個別対応を求めた。

相談日時	9月10日 7時開始 8時終了				
年齢	4歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	未診断
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
かみなり、ピストルの音など聴覚に過敏あり。入学に向けて、どのように準備すれば良いか。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	雷や、ピストルの音など特定の音が苦手で、耳をふさぐ事があり、過敏な部分がある。ただ、何かに熱中している時は上記の限りではない。上記のようなことがあり、就学前にあたり、不安である。	新版K式検査を実施した。検査場面では、普通は気にならない車の音が「少しいるさい。」との訴えがあった。何らかの聴覚過敏が考えられる。	本人の訴えや、希望でイヤマフ・耳栓等の使用を考慮してもらうようお願いした。（購入先の情報提供を行なった。） また、集団生活を送る上において気がかりなことがあれば、相談場所として、発達障がい者支援センターの情報提供を行なった。

相談日時	10月15日 7時20分開始 8時終了				
年齢	30代（保護者の相談）	性別	男性	主な障害	広汎性発達障がい
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
中学校から始まった不登校が現在に続く引きこもり状況。将来について。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	不安定期と安定期を繰り返す。作業所の指導員の言葉や保護者の反応によって、自信を喪失しやすく、自己否定感が強い。中学校から始まった不登校が現在に続く引きこもり状況で、長い期間、家族の密着度が強い為、家族の負担は大きく、将来に対しても不安が強い。特有のこだわりや、感覚の過敏があり、対応に苦慮している。	父親が育児に多く関わってこなかったことから、父親のようなタイプの男性指導員に執着がある。姉は、彼のことをよく理解していて、一つひとつ丁寧に弟の質問に答えている。経験不足からくる対人スキルの弱さがあるため、家族以外に気持ちを伝えられず、ストレスを溜め込むと考えられる。不安や不満を母親に対して吐露するため、混乱は母に向かう。	母親が学びを深めていることで、息子さんは自己理解を深め、自分の弱さやしんどさを素直に表現するようになってきた。社会参加の意欲はあり、長い引きこもり生活から改善の方向に向かっている。 部分的な拒否を上手く伝えられず、全拒否になりがち。わかってもらえないと思うと、心を閉ざす。自分の特性を自分でよく理解し、周囲に理解してもらうためのソーシャルスキルを家庭内でも具体的に伝えていこうと助言。

相談日時	10月15日 6時40分開始 7時20分終了				
年齢	30代(保護者の相談)	性別	男性	主な障害	広汎性発達障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
保護者も高齢になってきたため、将来が不安。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	<p>歯科医師の資格を持つ息子さんは、一度は就労したものの長くは続かず、長年、在宅(家事手伝い)が続いている。資格を取るために現在勉強中だが、将来の仕事に結びつくとは考えにくい。社会参加の意欲が低く、保護者も高齢になってきたため、将来が不安。息子さんのためにマンションを購入したが、自立生活は続かなかった。自宅では1日パソコンに向かっている。</p>	<p>典型的な広汎性発達障害と思われるが、本人はよく理解していない。自己評価があいまいで、プライドが高く、非現実的な空想の中で長く過ごしているため、言動にはリアル感がない。</p>	<p>民間の支援機関に通っているが、公的な就労支援機関(障害者就業・生活支援センター)にも関わって、就労支援のシステムや内容についてよく理解しておくよう助言。 また、保護者も高齢であることから、成年後見制度についても、情報を得ておくことを勧めた。 歯科医師の資格についてはこだわらず、本人の能力を引き出せる職種を就労支援機関とよく相談するよう伝えた。また自立生活をしていくための準備を具体的に進めていくよう計画を立てていく可能性を探った。</p>

相談日時	10月15日 6時開始 6時40分終了				
年齢	26歳(保護者の相談)	性別	男性	主な障害	アスペルガー症候群
投薬(その原因)など		投薬(その原因)など			
相談内容					
一方的な片思いをしている息子への正しい対応方法について。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	<p>施設に実習に来ていた女子大生に恋愛感情を抱く。彼女との結婚を望んでおり、仕事をしていないことに急に不安が増したため、自分で週に1度、2時間のアルバイトを見つけてきた。2時間で終わる行程に3時間かかってしまった。これからこのアルバイトが続くか不安。 現在、「恋愛=結婚」ということで頭が一杯で、きっと成就しないだろうこの恋心に、親は告白したあとの崩れを案ずる。 安易に結婚ができると思い込んでいる子どもにどのように接したらよいか、頭を抱えている。</p>	<p>高校時代にふられた経験があるが、今は「好きだと伝えれば付き合える、その後には結婚が待っている」と信じて疑わない。 見つけてきたアルバイト先で制服の貸与があったとき、自分で買った作業着(綿パン)の支払いを雇用主に直接求めるなど、社会のルールや常識が理解できていないと思われる。 相手にも感情があることや、社会の一般常識を獲得しにくい特性が顕著である。</p>	<p>恋愛感情を持つことはごく自然なことなので、告白したときに想定される相手の反応について、シュミレーションしてみるよう助言。若い女性なので相手に他に好きな人がいる可能性は高いこと。すでに彼氏がいることも大いに考えられること。結婚するためには、色々な意味の自立が条件であること、などをソーシャルストーリーで伝えていくことを勧めた。 アルバイトに関しては、本人が決めてきたことなので、見守りに徹すること、困ったときには誰に相談すべきかを明確に伝えておくことなどを助言した。</p>

相談日時	11月27日		7時20分開始	8時終了	
年齢	13歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	広汎性発達障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
中学2年生ですが一日も登校しておらず、同級生と会うのが怖いといいながら特に焦燥感を感じていない様子。先が見えないのが辛い。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	小学校のとき、友人関係のトラブルから登校渋りになり、中学では不登校状態になった。学校の友達と会うことを極端に恐怖と感じており、学校にはまったく行けない。 大阪市の不登校児支援スクールには週1回定期的に通うことは出来ている。そのほかは母親が経営する会社に母と共に毎日通っている。登校せずにこのままの状態でもいいのだろうか。	本児は昨年、医師より広汎性発達障がいと診断されている。その特性に基づく行動様式が聞き取りからは数点伺えた。また、障がい特性という1次的問題から情緒的な反応を含めて2次的症状に発展しており、2次的症状に対するケアの必要性を感じた。	現状を不安に感じ、やや焦りが感じられたので、今の対応が間違っただけではないことを説明し、自信を持って対応してもらうことをお願いした。 2次的な症状に関しては、対人恐怖があるという点からも、今は学校のことを想起させるような対応を避け、サポート校に通えていることを評価して自信につなげるようお願いした。 心理検査(WISC)のデータがあるようなので、機会があれば持参していただき、特性に沿った支援を考えたい。

相談日時	11月27日		6時40分開始	7時20分終了	
年齢	6歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	自閉性障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
小学校入学当初から登校渋り。現在は以前に比べて改善された。しかし父母と学校との関係が改善されず、連携、本児への対応の共通認識などが持てない状態にある。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	保育所では何の問題も無かったのに、小学校に入学当初より登校しぶりが続いている。そのことを学校に訴えても、保護者が心配しすぎだという返答である。知的な障がいの無い自閉症を説明してもなかなか理解してもらえず、きちんと対応してもらえない。学校に話をしても暖簾に腕押し状態である。	高機能タイプの自閉症の理解が出来ていないことが最大の原因と思える。知的な遅れが無いと安心され、まったく自閉特性に応じた対応がなされないことが多く、子どもは辛い思いをする。小学校1年生で登校しぶりが出ているというのはまさに、その現れであると思われる。	まずは学校に対して、自閉症の正しい理解をしていただくよう再度お願いしていただくようにした。「それは充分存じています」ということではあるが、対応はまったくなされていないので、専門家をお願いして研修してもらう必要がある。良くない対応の一番は、どのような状態でも学級の中にいることで、パニックや行動問題に対して事後対応が中心になっていることである。子どもがリラックスできる居場所を作ることと、パニックや問題となる行動を起こさないような対応を家族と共に考えることをお願いした。保護者に対しては、少しでも子どもをほめて自信を高めるアプローチをお願いした。

相談日時	11月27日		6時開始	6時40分終了	
年齢	6歳（保護者の相談）	性別	女兒	主な障害	自閉性障がい
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
支援級担任との関係が悪化して、行き渋りや自傷行為が酷くなっている。帰宅後食事も取らずに泣き続け自傷する（壁に頭をぶつける・自分を噛む・自分を叩く）様になり、心配。支援級担任に相談しても、原因に対応してくれず、本当に困っている。					

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
		学校の支援学級担当者の対応が非常に不適切で、子どもに登校しぶりや自傷行為が激しくなっている。自閉症支援センターにも相談し、連携をお願いしているが、自分の指導法をかたくなに曲げない。管理職を交えた話し合いの場も持つが、支援学級担当者が号泣して話にならなかった。自閉症支援センターで使用している教材も自作し、学校にお渡ししているがまったく使われずにほこりをかぶっている。先生とも前向きに対応しようと考えているが、保護者が悪者になるばかりで何も進展しない。	学校の対応は相談者からの情報ではひどいものである。人権蹂躪であるともいえる。しかし、その背景にある自閉症という理解を急有するにいたっておらず、学校の対応は保護者を責めることにシフトしている。問題となっている保護者とのやり取りに力を注ぐのではなく、子どもの理解という視点で対応をしていく必要がある。

相談日時	11月27日		5時開始	6時終了	
年齢	48歳	性別	女性	主な障害	なし
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
8月23日実施のWAIS-Ⅲの検査結果を聞くため。					

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
		8月23日実施のWAIS-Ⅲの検査結果を聞き、自己理解を深めたい。	検査で見られた、個人内認知能力のアンバランスがあり、結果説明のやりとりで、ご本人が緊張し、不安を抱えて勤務しておられることが判明。 手先の微細動作に堅さがあり（粗大動作については不明）、書記運動のスピードは低い。 不安との関わりでは、「わからない」と回答した後に集中がまずこと、試行錯誤型の解法はとらずに、モデル1. 2. と立てて仮説にはまることを期待する解法をとる。

相談日時	12月10日		7時開始	8時終了		
年齢	14歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	なし	
投薬(その原因)など		なし				
相談内容						
中学に入ってから不登校になり、昼夜逆転の生活を送っている。今後、どうしていけばよいか。						

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
		中学校入学当時は学校に通っていたが、夏休み明けより行き渋るようになる。保護者と学校とで話し合いを重ねるが、具体的な解決策に向けての内容にはならず、原因の擦り付け合いとなり、母が学校への不信感を募らせている。また本児が昼夜逆転の生活を送っているため、母は疲労困憊の様子である。	兄も中学時代に不登校を経験しているが現在は順調に高校に通っている。兄が本児にとっては良いモデルとなっており、不登校であることに危機感や焦燥感がなく、現在の状況も前向きにとらえているとのこと、母は更に混乱している。不登校の特定の原因(先生との関係・友人関係)は把握できていない。

相談日時	12月10日		6時開始	7時終了		
年齢	11歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	自閉性障がい	
投薬(その原因)など		投薬(その原因)など				
相談内容						
中学入学に向けて、地域にある中学校か、支援学校の中等部に進学するか。また現在の支援学級の担任と保護者との関係について。						

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
		現在、小規模な小学校に通っており、これまでの適切な支援もあって落ち着いて過ごしてきた。しかし中学校は児童数が現在の3倍以上になること、中学校に通う先輩の母たちからの情報に悲壮感があることで、進路について悩んでいる。また現在の支援学級の担任が、不適切な対応をしていることに憤慨している。	進路については、母の中で特定の学校に意志が固まっているようである。 支援学級担任との関係については、転任してきた担任が、前任者と正反対の仕事内容であり、保護者も学校の管理職も困惑している様子が伺える。

相談日時	1月18日 7時開始 8時終了				
年齢	12歳(保護者・本人)	性別	男児	主な障害	知的障がいに伴う広汎性発達障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
視機能を観察して欲しい。今後の学習の支援方法を教えて欲しい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	<p>本児は、知的障がいに伴う広汎性発達障がいと、右眼小眼症(ろう)左眼弱視 のこと。</p> <p>テストの解答用紙から、本来は漢字で解答すべき箇所でのひらがなの引用、また、カタカナで解答すべき箇所でのカナタナ・ひらがなの入り混りなど、視機能からの特性か、広汎性からの特性かを知り、その支援についての方法を知りたい。</p>	<p>WISC-Ⅲの下位検査より、符号と記号に大きな差が見られる。フロスティグ視知覚発達検査を実施したところ、気に留まる誤答は少なく、むしろ集中時間が短く、妨害刺激が入ると、モチベーションを保つための言葉がけが必要であった。母からの聞き取りでは、弱視ではあるが、習得している言語は安定して記憶しているようである。</p>	<p>単眼鏡を購入済とのことであったが、使用方法を本児に任せており、未使用のままであった。「これを使うと快適に過ごせる」という場面を設定し、上手に使えるねといった称賛を加えることで、定着化をはかってみてはどうかと提案した。また文字の記憶の仕方として、彼の特性を伝えた上で、パズルにする、色分けする、立体化したものにするなどの自作教材を作成すること、モチベーションを保つためにも、楽しみながら学習する方法が有効であることを伝えた。</p>

相談日時	1月18日 6時開始 7時終了				
年齢	10歳(保護者の相談)	性別	男児	主な障害	高機能自閉症
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
具体的な対応や学校との関係					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	<p>以前は不登校であったが、現在は月・火・木・金と、週に4日間の登校を続けている。</p> <p>この状態を続けていいのかどうか。</p> <p>学年が変わる度に、子どもの特性を説明しなければならず、とても負担に感じている。良い方法を教えて欲しい。</p>	<p>相談を申し込まれた当時は、不登校で悩まれていたとのことであるが、現在は前向きに取り組んでいるようである。</p> <p>市町村や学校によって状況は異なると思われるが、不登校期間中の学校との話し合いを通して、本児の通う学校の発達障がい児への理解や体制について、母は不安と不満を抱いている。</p>	<p>不登校の状態から現在では週4日の登校となり、全員が前向きに取り組んできた成果であることを伝え、決して焦ることなく登校した日の頑張った姿を称賛すること、「あと水曜日も学校に行けたら毎日だね」「あと1日だね」といった励ましは逆効果なので全員で留意することの共通認識をお願いした。引き継ぎに関する負担の軽減として、学校にファイルの作成をお願いし「気に留まるようなテストの解答」「行事等、どうやったら上手いだったのか、といった先生のメモ」など、普段の情報のコピーをファイルに挟み、それを使っての引き継ぎを学校にお願いしてはどうかと提案した。</p>

相談日時	2月18日		8時開始	9時終了		
年齢	3歳（保護者・本人）	性別	男児	主な障害	未診断	
投薬（その原因）など		なし				
相談内容						
今後の子どもへの支援方法について、具体的に教えて欲しい。						

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
		きょうだい児が広汎性発達障がいであり、本児にも言語の遅れが見られるため病院に受診。医師より特異性言語発達障がいの可能性があるとの見解を聞き、今後、具体的にどのように支援すればよいか悩んでいる。また行政の相談機関より、保育園への登園渋りが、あまりにひどく続くようであれば、小集団にスモールステップで慣らしてみてもどうかとの助言があり、母は更に悩んでいる。	本児への具体的な支援の情報や相談機関が母にないこと、きょうだい児と違うタイプであること、また朝の準備中、保育園の制服を見ただけで泣き出し、登園通路中も泣き続ける本児への対応に苦慮しており、本児にとって安心できる環境や支援とは何かという不安の思いが先行し、特性の把握や支援への手立ての整理ができずに混乱している。

相談日時	2月18日		7時開始	8時終了		
年齢	7歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	なし	
投薬（その原因）など		なし				
相談内容						
発達障がいの特性の有無。また今後、どのように接することが望ましいのか教えて欲しい。						

対応 ・ 所見	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
		学校の担任との学期末個人懇談にて、こだわりや注意散漫な場面があること、また子ども同士のトラブルの中で、相手の気持ちに気づきにくい特徴があることなどの様子を聞き、母が「発達障がいではないか」と思い、その特徴があるのかどうか、今後、どのように支援することが望ましいのか教えて欲しいと思っている。	本児に WISC-III を実施した。全体的な指数には大きな落ち込みは見られなかったが、個人内の能力を測定する下位検査からは、いくつかの特徴的な反応が見られた。普段の行動特徴と重ねて考えてみても、妥当性があり、本人はわざと周りを困らせようとしているのではなく、特性からの行動であることが理解できた。

相談日時	3月18日 7時開始 8時終了				
年齢	7歳（保護者・本人）	性別	男児	主な障害	自閉性障がい
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
一軒家を購入。環境調整のアドバイスが欲しい。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	現在の家庭での取り組み（スケジュール）について、本人があまり必要性を感じていなくて、いらぬ！と言うので、今後どのような支援が必要なのか？	毎日のルーティンをカードで提示しているが、その中には、本人のモチベーションの上がるような予定が組み込まれていなくて、確認する必要がない状態であった。	現在の予定の中にメリハリをつける為、大好きなゲームの時間を保障してあげる事により、他の予定も確実にこなすように組み立ててあげる。更に保護者の予定に付き合わせるのではなく、留守番するために必要なスキルを身につける様にして、スケジュールも留守番できる様な内容で組み立てる。

相談日時	3月18日 6時開始 7時終了				
年齢	11歳（保護者の相談）	性別	男児	主な障害	自閉性障がい
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
支援学級での学習について、本人の特性に合わない指導法をされているのではないかと疑問があり、一度本人を見て具体的なアドバイスをしてほしい。					

	相談者の相談内容 （聞き取りの内容）	予測される原因	担当者の対応 （助言・情報提供など）
対応 ・ 所見	支援学級から出される宿題を家庭でできない。教え方など学校のアドバイスを聞いて実施しても、本人にうまく伝わっていないような気がする。もっと違うやり方があるのでは？と思うようになった。本人を見て、具体的なアドバイスが欲しい。（漢字学習に関して）	K-ABC の検査結果を見たところ、本児は継次処理能力が優位だと結果であった。今までの支援が同時処理の優位なお子さんへの支援をしており、学習効率、効果において良い結果がでなかったと思われる。自閉症への偏った理解のため、本児の特性にあてない支援を続けてきたと推測できた。	継次処理とはどういうものかの説明をし、漢字学習に関しては有効と思われる手立ての助言を行う。（漢字の書き順を色別で示すなど） それとともに、支援者が行う支援を徐々に減らし、自分自身で苦手を補う方向へ持っていくこと、分からないときの援助要求も乏しいので、その部分においても具体的にアドバイスを行う。

(※追加枠 旭区コース 2日)

相談日時	3月12日		6時開始	7時30分終了	
年齢	6歳(保護者・本人)	性別	男児	主な障害	未診断
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
「文字はすらすら読む・書くのは苦手(独特のひらがなを書く)。陽気で頭の回転が良く、人懐っこく社交的だが、人の言葉にすぐに反応し、冗談なども字義通りにとってしまうため、トラブルになる」と保育園より相談。小学校入学にあたり、保護者を含めての共通認識をはかり、小学校への移行支援につなげたい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	保育園の先生が熱心で、これまでの保護者との信頼関係もあって、4月には専門医への受診が決まっている。保護者は発達障がいとは思っておらず、保育園より「検査でアセスメントがとれれば、認知特性がはっきりして、支援が見えやすくなる」と伝え、保育園・保護者ともに WISC-IVの実施を希望している。保育園の年長児クラスで行っている「どうする、ゆうきくん」のDVDを使っの SST のグループ活動を、本児も喜んで参加しているとのこと。	本児と初めにあったときに感じたことは、非常に言葉遣いが丁寧で、6歳という年齢に不釣り合いなコミュニケーションであった。検査の様子や会話から興味の限局やこだわりと呼べるものまであった。大人に対するかわりも親和性が高すぎ、背景にある認知特性を知り、現在の支援の手立てと就学に向きえた引継ぎの資料とするために検査を実施した。	WAIC-IVを実施。 実施時間…60分 取り組む姿勢…はじめに集中して取り組んでいる。後半は疲れたのか、集中が途切れた。 検査結果については解釈後、保護者と園の先生に回答予定。

相談日時	3月12日		7時30分開始	8時10分終了	
年齢	8歳(保護者・本人)	性別	男児	主な障害	広汎性発達障がい
投薬(その原因)など		なし			
相談内容					
自分の思いを主張できず、友達と対等に関係が結べない(クラスの中では浮いている) 母と子どもだけの関係で広がりがなく、今後、どのようにしていいのかわからない。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	対人関係(人の気持ちや場の空気を読む)が全く分からず、その都度、説明が必要。一年生の時は、友達が遊びに来ていたが、命令されて奴隷になっている、ルールが分からず遊びが成立しない、自分だけ本を読む等の行動から次第に誰も来なくなる。現在、帰宅後は一人での電車遊び、母が誘って公園や JR 車両基地に自転車で出かける。母と子供だけの関係になり、母が閉塞感で一杯になっている。	初めて会う子どもであったが、非常に人懐っこく、物怖じせずに相談者と関わることが出来た。しかし、視線の共有や言葉のキャッチボールが難しく、やや一方的な会話となっていた。電車の本を持参しており、会話の途中でもそれに没頭するなどの行動も見られた。保護者もどのように関わればいいのか不安であるようであった。	母は非常に養育に熱心で、出世以後からの子どもの様子について詳細な記録を取っておられた。また、医療機関等ともこまめに連携しておられ、発達検査や知能検査を複数実施しておられた。これまでの医師や相談員の対応について不信感と不満を持っておられたが、心理検査の教育的な解釈を元に、子どもの行動観察を通して説明した結果、障害というラベルではなく、ありのままの子どもの姿として行動特性をとらえていただくことが出来た。これらの結果の強い能力を刺激し、弱みをカバーする支援についてアドバイスした。

相談日時	3月23日 7時50分開始 8時30分終了				
年齢	23歳	性別	男性	主な障害	アスペルガー症候群
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
子どもさんは現在、同棲中で、子どもさんと彼女との関係、また彼女に必要な支援の資源情報、子どもさん、彼女への適切な対応方法について相談したい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	パニックを頻発するのでパニックを抑える良い方法はないか。先日もワンルームに二人で暮らしていると散らかっている部屋が許せないということで壁をたたいたり大声を出したりした。近所から苦情の張り紙が張られる始末で、非常に困っている。 彼女は幻覚や幻聴があり、医療や相談機関につなげたい。しかし、18歳という年齢から医療機関につなげるには保護者が同伴しないといけないので困っている。良い相談機関はないか。	認知のアンバランスから生起する視覚的な混乱（視覚認知力が高すぎることから周りのものが気になりすぎる状態）が起こっていると思われる。そういったやりにくさが背景にあり、いらいらしている状態で母親に物事を要求するとかなえてもらえるということを学習しており、パニックを起こせば自分の思い通りになるという誤学習が起こっていると思われる。	良くない行動から自分のほしいものや条件を作るという状況から、望ましい行動の結果、本人の要求をかなえるという手続きに変えるようお願いした。良くない行動に対しては冷静に毅然と対応し、良い行動にのみ正面から向き合うという姿勢を持っていただくことを助言した。 彼女に対しては、面倒を見ていただいている感謝の気もちに感謝し、幻覚・幻聴を本人に確かめたが緊急を要するレベルではないと感じたので、まずは身近な相談機関を紹介した。

相談日時	3月23日 7時10分開始 7時50分終了				
年齢	6歳（保護者・本人）	性別	男児	主な障害	未診断
投薬（その原因）など		なし			
相談内容					
3月12日に実施したWISC-IVの検査結果を聞きたい。また小学校生活での必要な支援と配慮すべき点を教えほしい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見	3月12日に実施したWISC-IVの検査結果を聞きたい。 小学校生活で、 ①落ち着いて学習すること。 ②良い友だち関係を築けるようになること を中心に、どのような支援と配慮が必要か教えて欲しい。	心理検査からは指標得点間や各下位検査のレベルでアンバランスが見られ、本児の認知能力には偏りが見られた。そのことを本児が気づかずに毎日を過ごしているため、周りから誤解を受ける結果となっている。語彙量の割には理解力が伴わないことや抽象的・概念的思考、眼球運動に課題が見られた。	本児の課題は生育の問題や関わり方からの問題ではなく、個人内の認知能力のアンバランスによることの説明を行った。一方的な考え方になることが多く、否定的な対応が多くなると予想されるので、身近な大人が代弁者となり誤解を取り除く必要があることを伝えた。またボディイメージや眼球運動にも課題があるので、本児が楽しみながら集中して取り組める課題を提示することで、成功体験をつかめるよう促した。

相談日時	3月23日 6時30分開始 7時10分終了				
年齢	26歳	性別	男性	主な障害	広汎性発達障がい
投薬（その原因）など	ジプレキサ等				
相談内容					
子どもさんは現在入院中で内服治療が続いている。医師からは「発達障がいの程度は軽いし、統合失調症ともいえない」との説明はあったが、子どもさんの特性を知り、対応や支援についての相談がしたい。					

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 所見	<p>医療機関では薬を処方されるだけで具体的な対応法が示されず、入院しても実際の対応は子どもに効果的とはいえない。現に入院中にスタッフとのトラブルから放火事象を引き起こしている。心理検査もどのようなものを実施したか説明がなく、発達障がいのレベルは軽いといわれるだけである。入院後は家庭でどのように関わるべきなのかを知りたい。</p>	<p>2次的・3次的な症状から精神状態ばかりを危惧されているが、背景にある発達障がいの特性は周囲から見れば軽く思えても、本人にとっては重篤な問題になりかねない。他者の言葉に惑わされず、本人の気持ちに寄り添うことが必要。逸脱行動を起こすきっかけを確認していくと、予定の急変、気持ちの表現方法に課題があった。</p>	<p>発達障がいを理解している医療への受診の中で、成功体験を積むことの必要性を訴えた。また、課題となる部分以外に、音楽への興味関心やつりなど得意な部分も多く見られたので、さらに得意なことや興味を広げることで楽しみを見つけるようにアドバイスした。成人になればサポートしてくれる機関も限られるので、本人の身近にいる保護者も感情のコントロール法やリラクセス法などを学び、これからともに支えあう関係として親子関係を築いていただくようお願いした。</p>

WISC-IVの購入



ブログへの報告
[「お礼～WISC-iv購入～」](#)

発達障害児と保護者の療育活動

都島コース

「親子サロン・保護者相談」

場所：大阪市都島区社会福祉協議会

- 第1回 日時：5月1日（土）午後1時～3時
内容：自由遊び、保護者相談
- 第2回 日時：7月3日（土）午後1時～3時
内容：自由遊び、ムーブメントによる集団遊び、保護者相談
- 第3回 日時：8月7日（土）午後1時～3時
内容：自由遊び、ムーブメントによる集団遊び、保護者相談
- 第4回 日時：9月4日（土）午後1時～3時
内容：感覚統合療法、保護者相談
- 第5回 日時：2月6日（土）午後1時～3時
内容：感覚統合療法、保護者相談

発達障害児と保護者の療育活動(都島コース①)

日時・場所	平成22年5月1日(土)午後1時分～3時 都島区社会福祉協議会					
参加者数	こども		保護者		ボランティア	
	男	女	男	女	男	女
	3	2		5		1
専門家	大阪府教員 1 名・大阪市教員 1 名					
ボランティア	おもちゃ図書館スタッフ 1 名					
講師	NPO法人チャイルズ 1 名(保護者相談)					
流れ	取り組み・様子					
1 時開始	i)それぞれの遊びの空間の確保、遊びの場所の明確化					
自由遊び	<p>■机・椅子を使い、遊びのスペースを6カ所に分けてのコーナーの設置</p> <p>(プラレール/レゴブロック/ボールプール/跳箱&マット/お絵かき(休憩の場所も兼ねる)/ままごと)</p> <p>■相談コーナーの設置</p> <p>◎遊びのコーナー分けをしたことで、子どもたちは自分の好む遊びを自ら選択し、思い思いのままに自由に遊ぶ。</p> <p>◎十分に遊ぶと次の遊びへと移るが、順番が明確で、トラブルも回避できた。</p> <p>◎相談コーナーを設けたことで、母親が相談コーナーにいる時間は、母のそばで遊べるおもちゃへと切り替えられたこと、母親自身も、他者に迷惑をかけることなく、日頃の育児の悩みを話せたことで「来て良かった」との感想をいただいた。</p>					
2 時 40 分	ii)おもちゃ、机等の片付け。					
2 時 55 分	iii)絵本の読み聞かせと、「さようなら」の挨拶					
3 時	iv)終了					
特記事項	次回はあそびの講師「ママッピー-OSAKA」(ムーブメント)					
「簡単なスケジュール」「靴を脱ぐ場所」の視覚支援物を準備し、より明確にする。						
乳幼児の参加も想定した上での、コーナーの設置の検討が必要。						

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(都島コース②)

日時・場所	平成22年7月4日(土)午後1時分～3時		都島区社会福祉協議会			
参加者数	こども		保護者		ボランティア	
	男	女	男	女	男	女
	4	5		4		1
専門家	ママッピーOSAKA(大阪府堺市)					
ボランティア	地域活動支援員(福島区)					
講師	NPO法人チャイルズ 1名(保護者相談)					
流れ	課題					
1時開始	i)それぞれの遊びの空間の確保、遊びの場所の明確化					
自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> ■机・椅子を使い、遊びのスペースを6カ所に分けてのコーナーの設置 ■相談コーナーの設置(内容は保護者の申告による育児相談が中心) 					
	ii)おもちゃ、机等の片付け。					
1時50分	iii)ムーブメント療育の開始					
2時00分	■挨拶…予定と活動の方法を聞き、見る					
ムーブメント療育	■ママッピー体操…一緒に体操をする。					
	■自己アピールタイム(ずんずんずんずんどこーピース・きらきら・拍手…課題)					
	■きくちゃん…担当者の説明を聞き、動きを見る					
	■走行ムーブメント(大スカーフゆらゆら)…担当者の説明を聞き、動きを真似る					
	■スカーフ ビーンズバック…担当者の説明を聞き、動きを真似る。					
	(振る、投げる、まるめる、色あてなど)					
	■パラシュート…両手や片手で持ち、上下、左右に振る。回る・くぐる。前後に進む。					
	■クールダウン…(身体意識をする)					
	■終わりの挨拶					
3時00分	iv)終了					
特記事項	自由遊びについては、5月と同じ設定。					
	次回のあそびの講師も、今回の「ママッピーOSAKA」(ムーブメント)					
	参加者から大変好評だったので、次回はムーブメントのビデオ撮影を実施。(希望者に配布)					

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(都島コース③)

日時・場所	平成22年8月7日(土)午後1時分～3時		都島区社会福祉協議会			
参加者数	こども		保護者		ボランティア	
	男	女	男	女	男	女
	4	7		5		3
専門家	ママッピー-OSAKA(大阪府堺市)					
ボランティア	地域活動支援員(福島区)、支援学校教諭、行政職員					
講師	NPO法人チャイルズ 1名(保護者相談)					
流れ	課題					
1時開始	i)それぞれの遊びの空間の確保、遊びの場所の明確化					
自由遊び	<ul style="list-style-type: none"> ■机・椅子を使い、遊びのスペースを6カ所に分けてのコーナーの設置 ■相談コーナーの設置(内容は保護者の申告による育児相談が中心) 					
	ii)おもちゃ、机等の片付け。					
1時50分	iii)ムーブメント療育の開始					
2時00分	■挨拶…予定と活動の方法を聞き、見る					
ムーブメント療育	■ママッピー体操…一緒に体操をする。					
	■自己アピールタイム(ずんずんずんずんどこーピース・きらきら・拍手…課題)					
	■みるちゃん…担当者の説明を聞き、動きを見る(物語)					
	■走行ムーブメント(大スカーフゆらゆら)…担当者の説明を聞き、動きを真似る					
	■ロープ…担当者の説明を聞き、動きを真似る。					
	(振る、投げる、まるめる、色あてなど)(△・○・口の形づくり)					
	■パラシュート…両手や片手で持ち、上下、左右に振る。回る・くぐる。前後に進む。					
	■クールダウン…(身体意識をする)					
	■終わりの挨拶					
3時00分	iv)終了					
特記事項						
今回はあそびの講師は、(有)あーとねっと(作業療法士・感覚統合療法)、 保護者相談の講師は、NPO法人クララ。						

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(都島コース④)

日時・場所	平成22年9月4日(土)午後1時分～3時 都島区社会福祉協議会					
参加者数	こども		保護者		ボランティア	
	男	女	男	女	男	女
	4	6	1	5		2
専門家	(有)あーとねっと(作業療法士・感覚統合療法)					
ボランティア	地域活動支援員(福島区)、行政職員					
講師	NPO法人チャイルズ 1名(保護者相談)					
流れ	取り組み・様子					
1時開始	i)それぞれの遊びの空間の確保、遊びの場所の明確化					
	■トランポリン・マット・ハシゴを組み合わせ、感覚運動あそびの大型サーキットの設置					
	■机を使って仕切り、一人遊びのスペースを設置(プラレール/レゴブロック)					
	■相談コーナーの設置					
1時15分	ii)感覚統合療法の開始					
	■ハシゴを上る→跳び箱の上で立つ→トランポリンへ移動(10回飛ぶ)→緑色のマットに飛ぶ					
	・小学生児童が楽しめるよう、トランポリンでは「天井に手が届くかどうか」「障害となる					
	ピンク色のマットを飛び越えられるかどうか等、モチベーションが持続できるよう工夫する					
	■保護者へのフィードバック(順番に)					
	・身体特徴やその認知などの見解を伝え、家庭でできる感覚遊びのアドバイス					
	■相談コーナーでの内容					
	・100種類以上の自立課題から、それぞれの子どもさんが楽しんで取り組むものを試し、					
	子どもの特性(得意なこと)と一緒に考える。					
2時50分	iii)おもちゃ、机等の片付け。					
3時	iv)終了					
特記事項	トランポリンなどの大型遊具のルールを提示する。					
次回はあそびの講師は、引き続き(有)あーとねっと(作業療法士・感覚統合療法)、						
保護者相談の講師は、NPO法人クララ。家庭児童相談室・ケースワーカーの2名						

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(都島コース⑤)

日時・場所	平成23年2月4日(土)午後1時分～3時 都島区社会福祉協議会					
参加者数	こども		保護者		ボランティア	
	男	女	男	女	男	女
	8	8	4	10		3
専門家	(有)あーとねっと(作業療法士・感覚統合療法)					
ボランティア	地域活動支援員(福島区)、行政職員、幼稚園教諭					
講師	NPO法人チャイルズ1名(保護者相談)、家庭児童相談室・ケースワーカー(保護者相談)					
流れ	取り組み・様子					
1時開始	i)それぞれの遊びの空間の確保、遊びの場所の明確化					
	<ul style="list-style-type: none"> ■感覚運動あそびのサーキットの設置(2種) ・トランポリン・マット・ハシゴを組み合わせた大型サーキット(前回同様) ・椅子・机・跳び箱・ハシゴを組み合わせた小型サーキット ■机を使って仕切り、一人遊びのスペースを設置(プラレール/バスケットゴール) ■相談コーナーの設置(内容は保護者の申告による育児相談が中心) 					
1時15分	ii)感覚統合療法の開始 ※変更を加えながらモチベーションの維持に工夫する。					
	<ul style="list-style-type: none"> ■ハシゴを上る→跳び箱の上で立つ→トランポリンへ移動(10回飛ぶ)→緑色のマットに飛ぶ(乳幼児の子どもさんの場合、保護者に必ず見守ってもらうようにお願いします) ・途中、マットを立てて、山を乗り越えられるかという全身運動へと変更。 ■椅子・机・跳び箱・ハシゴを組み合わせたサーキットをまわる ・途中、椅子の数を増やす、跳び箱を1段高くする。 					
2時50分	iii)おもちゃ、机等の片付け。					
3時	iv)終了					
特記事項						
参加人数が多く、専門家からのお話(保護者へのフィードバック)が実施できなかった。						
水分補給のコーナーを設置するべきだった(飲みかけジュースが幾つもあり、持ち主も分からない)						

当日の様子



旭区コース

「アロマ・色彩の勉強&体験・座談会」

場所：大阪市立城北市民学習センター・和室

座談会の講師：NPO法人チャイルズ 副代表さん（全5回）

アロマの講師：NPO法人海・空・太陽さん（全5回）

カラーの講師：村田晴美さん（全5回）

第1回 日時：6月26日（月）午前10時～12時

内容：アロマスプレー作り、色彩心理（入門）、座談会（自己紹介）

第2回 日時：7月26日（月）午前10時～12時

内容：アロマハンドケア、パーソナルカラーのお話、座談会

第3回 日時：8月23日（月）午前10時～12時

内容：アロマ石けん作り、パーソナルカラー診断、座談会（工夫をしてみよう）

第4回 日時：11月27日（土）午前10時～12時

内容：カラーカードを使ったワーク、アロマフットケア、座談会（近況報告）

第5回 日時：1月22日（土）午前10時～12時

内容：パステルアートカラーセラピー、ハーブティーづくり、座談会

発達障害児と保護者の療育活動(旭区コース①)

日時・場所	平成22年6月26日(土) 午前10時~12時 大阪市立城北市民学習センター・和室				
参加者数	保護者		こども		講師
	男	女	男	女	NPO 法人海・空・太陽
		4		1	村田 晴美 さん
					黒岡 恵子 さん
流れ	課題				
10時開始	i)「アロマセラピー」				
	■アロマスプレー作り				
	アロマセラピーについての簡単な講義。(エッセンシャルオイルの選び方、成分、主な効能など)				
	多種類のエッセンシャルオイルの中から、自分の好きな香りを3つ選び、ブレンドし、スプレーを作成する。				
10時40分	ii)「カラーセラピー」～色彩でココロを知る～				
	■色彩心理～入門～色についてのお話				
	色鉛筆でワークを行う。自分が組み合わせた色を参加者に見てもらい、イメージを話し合う。				
	感想とご意見として「場所、目的別のカラーを知りたい」などがあがる。				
11時20分	iii) 「座談会」				
	■自己紹介・日ごろ思っていることを書き出してみよう				
	自己紹介のためのプレートを作成し、順番に自己紹介を行う。子どもについても少し紹介する。				
	次回のためにワークシートを配布し、話すことを家庭で考えてきてもらう。(宿題)				
	感想として「人の話を聞くのが楽しみ。一人では前に進めないから」といった意見があった。				
12時00分	iv) 終了				
特記事項	■カラーセラピー準備物:色鉛筆				

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(旭区コース②)

日時・場所	平成22年7月26日(月)午前10時~12時 大阪市立城北市民学習センター・和室				
参加者数	保護者		子ども		講師
	男	女	男	女	NPO 法人海・空・太陽
		7		1	村田 晴美 さん
					黒岡 恵子 さん
流れ	課題				
10時開始	i)「アロマセラピー」				
	■アロマハンドケア				
	二人一組となり、互いにアロママッサージオイルを使ってハンドマッサージを行う。				
	講師の先生が注意事項やアドバイスをを行いながら、実演。				
	マッサージ終了後、感想を述べる。「むくみが取れた」など・・・。				
10時40分	ii)「カラーセラピー」～色彩でココロを知る～				
	■パーソナルカラーのお話				
	身近にあるもので、自分に合う色を探す。一つの色でも、様々な種類があることを季節を使って説明。				
	色に関して、新たなイメージの発掘と認識を、自分自身で確認していく。				
11時20分	iii)「座談会」				
	前回の宿題(今の自分が思っていること、日頃の振り返り)を、一人ずつ発表する。				
	それに対する意見交換、情報提供が行われる。				
	他者の意見を聞いて、自分の共感できる部分、自分の意見を言う・・・など。				
12時00分	iv)終了				
特記事項	■アロマセラピー準備物:タオル				

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(旭区コース③)

日時・場所	平成22年8月23日(月)午前10時~12時 大阪市立城北市民学習センター・和室				
参加者数	保護者		子ども		講師
	男	女	男	女	NPO 法人海・空・太陽
		10			村田 晴美 さん
					黒岡 恵子 さん
流れ	課題				
10時開始	i)「アロマセラピー」				
	■アロマ石けん作り				
	① 石けん素地(馬油配合)を細かくつぶしこねる				
	② パープエキス(7種類)と月桃精油を加え、さらにこねていく。				
	③ 各自、好きな形に整え、ハーブを飾り付け完成。				
10時40分	ii)「カラーセラピー」~色彩でココロを知る~				
	■パーソナルカラー診断				
	講師より、様々なカラーについて、メイク道具などを使った説明がある。				
	色布を使ってカラー診断を一人ずつ行う。顔近くに布を持っていき、鏡を見ながら顔				
	色の違いを見比べていく。				
11時20分	iii)「座談会」				
	■工夫をしてみよう				
	講師が用意したワークシートに、それぞれ自分とお子さんのことを書き出し、どうすればよりよくなっていくか、実現に向けての工夫を考え、一人ずつ発表をしていく。				
	参加者それぞれが、お子さんの課題と自分自身を振り返る力を持っていて、発表の時、他の参加者も真剣に聞いていた。				
12時00分	iv)終了				
特記事項					
	■カラーセラピー:診断なのでメイクは薄めにということを事前に伝えておく。				

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(旭区コース④)

日時・場所	平成22年 11 月 27 日 (土) 午前 10 時～12 時 大阪市立城北市民学習センター・和室				
参加者数	保護者		こども		講師
	男	女	男	女	村田 晴美 さん
		5		1	NPO 法人海・空・太陽
					黒岡 恵子 さん
流れ	課題				
10 時開始	i)「カラーセラピー」～色彩でココロを知る～				
	■カラーカードを使ったワーク				
	「好きな色」「自分自身を色で例える」「味についての色のイメージ」「最近食べた食材の色」の設問があるワークシート上に、カラーカードを貼っていく。				
	あまり悩まず、インスピレーションで選んでいくことを講師からアドバイスされると、作業もスピードアップする。				
	最後、発表→講師より助言。他の参加者から質問も飛び交う。				
10 時 40 分	ii)「アロマセラピー」				
	■アロマフットケア				
	アロママッサージオイル(3種)を使って、参加者同士二人一組になって、足のマッサージを行う。				
	片方の足から行い、施行前と後の違いを確認する。				
	講師より、手の使い方、マッサージのコツなどを教えてもらいながら進む。				
11 時 20 分	iii) 「座談会」				
	■近況報告				
	順番に一人ずつ、近況報告を行う。それに対し、参加者から質問や意見が出、講師からもアドバイスがあった。				
	特に、思春期における様々な問題がクローズアップされ、参加者全員深く考えさせられる。今後、先輩保護者から、そういった話を聞くことについての要望もあがる。				
	様々な悩みに関して、参加者同士でフォローしあうなど良い交流が図られた。				
12 時 00 分	iv) 終了				
特記事項					
	■カラーセラピー準備物:はさみ、のり				
	■アロマセラピー準備物:タオル				

当日の様子



発達障害児と保護者の療育活動(旭区コース⑤)

日時・場所	平成23年1月22日(土) 午前10時~12時 大阪市立城北市民学習センター・和室				
参加者数	保護者		こども		講師
	男	女	男	女	村田 晴美 さん
		7			NPO 法人海・空・太陽
					黒岡 恵子 さん
流れ	課題				
10時開始	i)「カラーセラピー」~色彩でココロを知る~				
	■パステルアートカラーセラピー				
	カラーブロック5色を十字に置き、過去、現在、未来のイメージを診断。「今年の夢」「目標」「なりたい自分」をテーマにパステルアートに挑戦。				
	パステルアートが出来上がった順に、講師による説明、助言を個別に行っていく。				
	最後、作品を皆の前で披露し、講師による寸評が行われる。				
10時40分	ii)「アロマセラピー」				
	■ハーブティーづくり				
	講師による実演。参加者の意見を取り入れたブレンドでハーブティーを作って試飲。				
	効能表を配布し、ハーブと照らし合わせ、その中から3つを選んで、自分でブレンドする。疑問点や風味などを講師に質問しながら進んでいく。				
	自分で作ったハーブティーはお土産として持ち帰る。				
11時20分	iii)「座談会」				
	■振り返り・意見交換				
	「今心がけていること」「子どもとの付き合い方」				
	今までの振り返りを中心に、話を進める。「活動を通して子どもへの接し方が変わった」「前向きになれた」「参加していくたびに新たな発見があった」などの意見がでる。				
	最後に、講師より「支えあう仲間の大切さ」の話がある。				
12時00分	iv)終了				
特記事項	■アロマセラピー準備物:ポット、お湯、紙コップ				

当日の様子



参考資料

大人も子どもも！ココロもカラダも！

リラックス教室

～アロマ・色彩・子育て座談会～

時間：午前 10 時～12 時
(計 5 回)

毎日の家事や育児・・・大変なことも、たくさんあります。
時には、ゆっくゆくと・・・リラックスしてみませんか？
子育て、そしてあなた自身について、
みんなで考えてみませんか？

平成 22 年

① 6 月 26 日 (土)

③ 8 月 23 日 (月)

平成 23 年

⑤ 1 月 22 日 (土)

② 7 月 26 日 (月)

④ 11 月 27 日 (土)

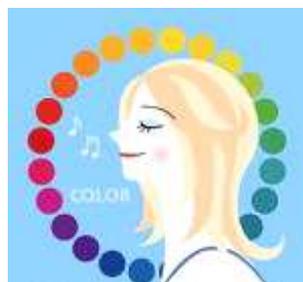
無料
です



香りとオイルで
リラックス

こんなことをします

アロマ石鹸づくり
アロマスプレーづくり
ハーブティを楽しもう 等



色彩でココロを知る

こんなことをします

あなたに似合う色探し
色で分かるココロの状態
ライフケアカラー 等



誰かに
話してみませんか？

こんなことをします

自己紹介
自分のいいところを探そう
子どものいいところを探そう 等

持ち物

飲み物・色鉛筆・タオル2枚
(必要なものは、その都度、お知らせします)

講師

藤本 真由 さん (NPO 法人海・空・太陽)
村田 晴美 さん (カラーアナリスト)
黒岡 恵子 さん (NPO 法人チャイルズ)

※ 守秘義務をお約束します。

大阪市旭区高殿 6 丁目 14 番 6 号
『大阪市立城北市民学習センター』



地下鉄

谷町線・関目高殿駅 4 号出口から徒歩 3 分
今里線・関目成育駅 2 号出口から徒歩 6 分

私鉄

京阪電車・関目駅から徒歩 6 分

詳細は
HP を見てね!

お問合せ・連絡先

NPO法人はなしのぶ

(担当：伊藤 長谷川)

HP <http://blog.canpan.info/hanasinobu2006/>
MAIL hanasinobu2006@yahoo.co.jp

- ① 参加申し込み用紙の必要事項をご記名の上、添付メールでのお申込み、またはメールの本文に同様の内容をご記名の上でお申込みください。
- ② FAXの方も、一旦、メールにてお問合せください。折返し、番号をお知らせします。

気軽に
お問い合わせ
ください
待ってま〜す!

リラックス教室に参加申し込みします

氏名			
住所			
電話番号	自宅：	携帯：	
アドレス	アドレス：		
おこさんの参加の有無	有 ・ 無	有の場合	才
	名前		



このイベントは競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します



～アンケート①～

①あなたの最近、ストレスを感じていますか？数字を○で囲んでください。(不安やイライラ、怒りなど)



②ストレスを感じたときや疲れがたまったときに、うまく発散することができますか？

- () できている
- () 毎回ではないが、できているほうだと思う
- () できていない

③感情をコントロールできるほうだと思いますか？

- () できるほうだと思う。
- () 半々くらい
- () できないほうだと思う。

④自分の気持ちを人に話していますか？

- () よく話すほうだ
- () あまり話さないほう
- () 全く話さない



⑤今の自分が好きですか？

- () 好き
- () 普通
- () 嫌いなところが多い



⑥「こんな自分になりたい」という目標などはありますか？

(例：家事をテキパキこなしたい、子どもを怒らない・・・など)

.....

⑦ご意見・ご感想などがありましたらご記入ください。

.....

～ご協力ありがとうございました～

NPO 法人はなしのぶ



★アロマセラピー体験学習についてお聞かせください★

	大変 良い	良い	普通	悪い	大変 悪い	その他
今回の体験学習はいかがでしたか？						
(感想・その他ご意見などあれば、お聞かせください。)						

★カラーセラピー体験学習についてお聞かせください★

	大変 良い	良い	普通	悪い	大変 悪い	その他
今回の体験学習はいかがでしたか？						
(感想・その他ご意見などあれば、お聞かせください。)						

★座談会についてお聞かせください★

	大変 良い	良い	普通	悪い	大変 悪い	その他
今回の座談会はいかがでしたか？						
(感想・その他ご意見などあれば、お聞かせください。)						

★今回のリフレッシュ教室は、何でお知りになりましたか？

・はなしのぶブログ ・チラシ ・友人、知人 ・その他()

★今後、どのような企画があれば参加してみたいと思われませんか？

～ご協力ありがとうございました～

NPO 法人はなしのぶ

障がい児とご家族対象

あそびにおいでよ!

親子サロ〜ン

年間予定

(全5回)

5月1日(土)

7月3日(土)

8月7日(土)

9月4日(土)

2月5日(土)

参加費
無料



場所

都島区社会福祉協議会
(ふれあいセンター都島)
3階

時間

午後
1時~3時

あそびにおいでよ!

注意事項

あそび

- 基本的に、親子で一緒に遊んでね。
 - トラブルが発生した時は、近くにいるスタッフに声をかけてください。
 - 持参の飲み物は、飲み物コーナーで飲んでね。
 - お片づけしてから、帰ろうね。
 - お帰りの際は、1階の出入口の扉が手動になっています。お気をつけてください。
- ※ボランティア保険に加入いたします。

遊びの時間

【7月・8月】ママッピー-OSAKA さん
(ムーブメント)

【9月・2月】作業療法士 灘裕介 先生
(感覚運動遊び)



相談コーナー

保護者

- 相談コーナーがあります。
- お子さんのこと、お家での様子、学校や保育所でのこと・・・お気軽にご相談ください。

【5月・7月・8月】
NPO 法人チャイルズ代表
是澤 ゆかり さん

【9月・2月】
NPO 法人クララ副代表
弦川 紀子 さん

また当法人主催『夜の相談窓口』もあります。お気軽にご利用ください。



都島区社会福祉協議会
(ふれあいセンター都島)

大阪市都島区
都島本通 3-12-31

地下鉄
谷町線/都島駅 1号出口
徒歩 5分

詳細は
HPを見てね!



お問合せ・連絡先
(担当: 伊藤 長谷川)

NPO法人はなしのぶ



HP <http://blog.canpan.info/hanasinobu2006/> MAIL hanasinobu2006@yahoo.co.jp

申し込み不要。直接会場にお越しください。

= 夜の相談窓口 =

子育て相談 発達・教育相談



- ★ 昼間、働いていて、相談したくても相談に行くことができない。
- ★ 子どもの発達が気になるけど・・・どこに相談してよいか分からない。
- ★ クラスの子どもで、気になる子がいるけど、どうしていいか分からない。

どなたでもご相談できます！



保護者

本人

先生



育児・発達に関する相談

- 子どもへの接し方が分からない
- 言葉が遅い。こだわりが強い。人とのやりとりが苦手。
- 友だちとうまく遊べない。
- 発達障がいに関することから。



不登校・非行などに関する相談

- 非行 いじめ等にかんすること
- 思春期や性にかんすること
- 登園・登所しぶり、不登校
- 虐待などの疑い



学習・進路・学校生活(友達関係)等に関する相談

- 中学・高校の進学について
- 学力に関すること
- 集団活動・集団行動での不安について
- 先生・保護者との関係づくりにかんすること



気軽にお問い合わせ
ください
待ってま〜す！



お問合せ・相談予約連絡先

NPO法人はなしのぶ

(担当：伊藤 長谷川)

HP

<http://blog.canpan.info/hanasinobu2006/>

MAIL

hanasinobu2006@yahoo.co.jp

件名に「夜の相談」とし、
希望日時、相談の主訴をご連絡ください。



時間: 18時~20時 相談無料

※ 個別相談です。1人40分~50分を予定しています。

北区

日時	対象
5月21日(金)	乳幼児期の保護者 育児に関する相談 ※NPO 法人チャイルズ・副代表
7月26日(月)	支援者/当事者 または 学童期・思春期の保護者 ※伊丹先生
10月15日(金)	成人期の保護者等 完全予約 ※NPO 法人チャイルズ・代表
11月27日(土)	支援者/当事者 または 学童期・思春期の保護者 ※伊丹先生
1月28日(金)	専門相談/完全予約 (学習支援・集団での不応等) ※加藤先生(大阪・土佐堀 YMCA)
3月18日(金)	乳幼児期の保護者 育児に関する相談 ※NPO 法人チャイルズ・副代表

都島区

日時	対象
4月16日(金)	乳幼児期の保護者 育児に関する相談 ※NPO 法人チャイルズ・副代表
6月26日(土)	支援者/当事者 または 学童期・思春期の保護者 ※伊丹先生
8月23日(月)	支援者/当事者 または 学童期・思春期の保護者 ※伊丹先生
9月10日(金)	成人期の保護者等 完全予約 ※NPO 法人チャイルズ・代表
12月10日(金)	専門相談/完全予約 (学習支援・集団での不応等) ※加藤先生(大阪・土佐堀 YMCA)
2月18日(金)	支援者/当事者 または 学童期・思春期の保護者 ※伊丹先生

大阪市北区天満 1-7-9

『株式会社コムリ 1階・スタジオ室』



地下鉄/京阪・天満橋駅より徒歩5分

大阪市都島区都島本通 1-7-23

『NPO 法人 mama コム事務所』



地下鉄・都島駅④番出口より徒歩3分

※ 守秘義務をお約束します。安心してご相談ください。相談料は無料です。

※ 講師の先生は他の NPO 法人、教育関係者、福祉関係者です。

※ 相談時間は、①18時~18時40分 ②18時40分~19時20分 ③19時20分~20時が基本です。

※ お子さんをお連れいただいても対応いたしますので、ご利用ください。

相談票

相談日時	時開始 時終了	担当者	
相談者		本人との関係	
相談の経緯（正会員・賛助・紹介など）			

本人氏名		性別		生年月日・年齢		
所属 機関	保・幼・小・中・高・養など					
				担当者		
	通常学級・養護学級・通級学級など					
				担当者		
住所	〒					
	TEL・FAX					
	E-Mail					
家族構成						
主な障害	自閉症（知的障害の有無）/高機能自閉症/アスペルガー症候群/PDD/LD・ADHD/未診断など					
医療機関		受診の時期		主治医		
		受診の時期		主治医		
投薬（その原因）など						
手帳の 有無	療育手帳			取得の時期		
	精神保健福祉手帳					
	身体障害者手帳					
現在の状況						
相談内容						

	相談者の相談内容 (聞き取りの内容)	予測される原因	担当者の対応 (助言・情報提供など)
対応 ・ 所見			

企業やNPO等がもつ、
資源のマッチングをサポートする

参加登録・利用
共に無料

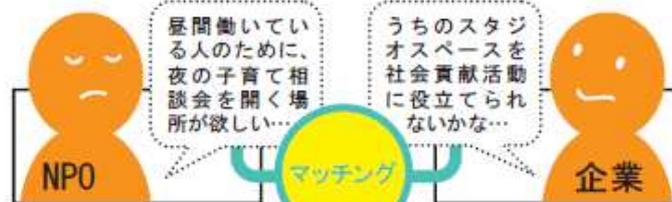
「Com link・こむりんく」の 輪が広がっています！

大阪市ボランティア情報センターでは、企業やNPO等がそれぞれに取り組んでいる地域貢献活動をより効果的に進めていくために、人材や物品、場所や技術などの資源を互いに活かし合う仕組みとして「Com link・こむりんく」(大阪市地域貢献活動マッチングシステム)を運営し、資源のマッチングをサポートしています(3月31日現在、参加登録:285企業・団体、マッチング成立:71件)。

この仕組みに参加登録する企業・NPO等を常時募集しています。参加登録は下記のウェブサイト上からも可能です。詳しくは下記サイトをご覧ください。大阪市ボランティア情報センター(問合先はP. 14下段参照)までお問い合わせください。

<http://comlink.weblogs.jp>

「Com link・こむりんく」のイメージ



Com link・こむりんく

両者の希望をかなえる
お手伝いをします!

※スタジオスペースにて

地域の皆さんのお役に立つことができれば嬉しいです!

相談したくてもできなかった人の力にきつとなるはずです。



ブログへの報告

■夜間子育て相談窓口の設置

(都島区コース)

[第1回](#) 日時：4月16日(金) 午後6時～8時

[第2回](#) 日時：6月26日(土) 午後6時30分～8時30分

[第3回](#) 日時：8月23日(月) 午後6時～8時

[第4回](#) 日時：9月10日(金) 午後6時～8時

[第5回](#) 日時：12月10日(金) 午後6時～8時

[第6回](#) 日時：2月18日(金) 午後7時～9時

(北区コース)

[第1回](#) 日時：5月21日(金) 午後6時～8時

[第2回](#) 日時：7月26日(月) 午後6時～8時

[第3回](#) 日時：10月15日(金) 午後6時～8時

[第4回](#) 日時：11月27日(土) 午後6時～8時

[第5回](#) 日時：1月28日(金) 午後6時～8時

[第6回](#) 日時：3月18日(金) 午後6時～8時

(別途梓・旭区コース)

[第1回](#) 日時：3月12日(土) 午後6時～8時

[第2回](#) 日時：3月23日(木) 午後6時30分～8時30分

■発達障害児と保護者の療育活動

(都島コース)

[第1回](#) 日時：5月1日(土) 午後1時～3時

[第2回](#) 日時：7月3日(土) 午後1時～3時

[第3回](#) 日時：8月7日(土) 午後1時～3時

[第4回](#) 日時：9月4日(土) 午後1時～3時

[第5回](#) 日時：2月6日(土) 午後1時～3時

(旭区コース)

[第1回](#) 日時：6月26日(月) 午前10時～12時

[第2回](#) 日時：7月26日(月) 午前10時～12時

[第3回](#) 日時：8月23日(月) 午前10時～12時

[第4回](#) 日時：11月27日(土) 午前10時～12時

[第5回](#) 日時：1月22日(土) 午前10時～12時